【授業科目】チーム医療論　　Theory of Team Approach to Health Care

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
杉浦 諭、大西 信行、豊田 妙子 山口 央輝、榎本 喜彦	1年次 前期	必　修	1	15	演　習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	チーム医療の一員として多職種連携を実践するにあたり、まず各科における専門性を理解しなければならない。看護と臨床検査の意義と看護師・臨床検査技師の業務内容をそれぞれ理解させ、これから修得すべき専門科目はどのような意味を持つかを認識させる。本科目は１年前期に実施し施設見学などを実施し、仕事内容だけでなく、医療人としての規律、マナーなど職業観と職業倫理を高め、専門医療職を目指す志を確固たるものにすることを目的とする。合同講義を実施し他職種の仕事内容も同時に理解させる。＊実務経験を持つ教員が授業を進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートにはコメントすることでフィードバックを行う。
実務経験に 関する 授業内容	医師、看護師、臨床検査技師の臨床経験をもつ教員が、医療専門職として必要なチーム医療のあり方について、実経験を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①チーム医療の現状と将来像を説明できる。 ②チーム医療における多職種の業務を修得することができる。 ③他学科学生とのコミュニケーションをとるためのスキルを身に付けることができる。 ④将来の職業像、専門性を修得することができる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	毎回の演習内容について復習とまとめを行う(4時間) 各学科職種の専門性を理解し、他学科学生に説明できるようにする。また他学科学生とのコミュニケーションを積極的にとることができるようになり、チーム医療、チーム意識を身に付けてほしい。 ※上記時間については、指定された学修に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画		
第 1 回	ガイダンス・グループ分け・アイスブレイク	全て
第 2 回	他己紹介①	杉浦
第 3 回	他己紹介②	大西
第 4 回	グループワーク：チーム医療における看護師の役割	豊田
第 5 回	グループワーク：チーム医療における臨床検査技師の役割	山口
第 6 回	グループワーク：チーム医療における助産師の役割	榎本
第 7 回	グループワーク：チーム医療における保健師の役割	
第 8 回	グループワーク：チーム医療における医師の役割	

評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 レポート 100%		
教科書	なし（必要に応じて資料を配付します）	参考書等	なし
学生へのメッセージ	皆さんが目指す医療職に関し、お互いの職能と知識を共有し、チーム医療の根本となるチーム意識を高めてほしい。 コミュニケーションスキルの向上にも期待します。		